



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2023 経営レポート

Management report



はじめに

東京都交通局は、2023年4月1日現在、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー、上野動物園モノレール及び発電の6事業※並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の交通局事業に対する理解と信頼を得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について

P2～3 都営交通について

2 経営の状況

P4～5 事業別の状況

P6～7 財務指標（営業収益・経常損益）

P8～10 損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

P11 運輸成績表

P12～19 事業別参考資料
（都営地下鉄、都営バス、日暮里・舎人ライナー、
上野動物園モノレール、関連事業）

3 経営指標比較

P20～21 比較対象団体、使用する指標

P22～23 高速電車事業／都営地下鉄

P24～25 自動車運送事業／都営バス

P26～27 軌道事業／東京さくらトラム（都電荒川線）

P28～29 新交通事業／日暮里・舎人ライナー

P30～31 電気事業／発電

（補足説明） 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。
金額については、原則として、税抜きで表示しています。

一日平均は、営業日数で除したものです。（2022年度営業日数 365日）

※上野動物園モノレールは、2019年11月1日から運行休止、2023年12月27日に廃止

報告対象期間は、

2 経営の状況：2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）、

3 経営指標比較：2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）です。

ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

1 都営交通について

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切にし、東京の都市活動や都民生活を支えています。

経営方針	主な計画事業（2022年度-2024年度）
都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○安全対策の強化○災害対策等の強化○安定的な輸送を支える基盤整備○安定的な電力供給を支える基盤整備
お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○輸送需要への的確な対応○公共交通ネットワークの利便性向上○便利で快適な移動空間の創出○お客様のニーズに応えたサービスの展開○サービス品質の持続的向上
首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。	<ul style="list-style-type: none">○まちづくりとの連携○沿線地域との連携○持続可能な社会の実現への貢献○福祉施策への貢献○都政情報などの発信等への協力
事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に持続可能な事業運営を行っていくための経営基盤を確立します。	<ul style="list-style-type: none">○関連事業の強化○事業運営を支える人材の確保と育成○全ての職員が活躍できる職場環境づくり○事業運営を支える執行体制の構築○経営改善に向けた取組

東京都交通局経営計画について

東京都交通局経営計画及び進捗状況について、交通局ホームページで公表しています。

東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 経営計画
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>



1 都営交通について

交通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を経理しています。

◆高速電車事業会計

- ・ 都営地下鉄

◆交通事業会計

- ・ 都営バス
- ・ 東京さくらトラム
(都電荒川線)
- ・ 日暮里・舎人ライナー
- ・ 上野動物園モノレール*1

◆電気事業会計

- ・ 発電

主要数値 (2022年度)

乗車人員 (4事業合計*2)

10.8 億人

対前年度 +1.1億人

営業収益

1,732 億円

対前年度 +173億円

経常損益

△ **21** 億円

対前年度 +107億円

職員数 (2023年3月31日)

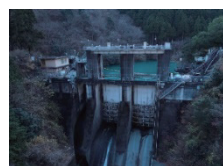
6,611 名

<内訳>

事務	1,356名
技術	757名
運転	2,858名
地下鉄車掌	284名
鉄道営業	633名
交通技能	635名
その他	88名

*1 2019年11月1日から運行休止、2023年12月27日廃止

*2 都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム(都電荒川線)及び日暮里・舎人ライナーの4事業を指す。






2 経営の状況

以降のページでは、交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する主要な指標を算定しました。

また、地下鉄路線別収支など、事業別の資料についても掲載しました。

2022年度事業別主要数値(対前年度比)

		都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
				
乗車人員	年間 (万人)	81,843 (12.3% ↑)	20,933 (7.0% ↑)	1,699 (9.4% ↑)
	一日平均 (万人)	224.2 (12.3% ↑)	57.4 (7.0% ↑)	4.7 (9.4% ↑)
乗車料収入	年間 (億円)	1,159 (13.2% ↑)	342 (9.2% ↑)	21 (11.4% ↑)
	一日平均 (万円)	31,745 (13.2% ↑)	9,364 (9.2% ↑)	585 (11.4% ↑)
経常損益 (億円)		△4.5 (59.9億円 ↑)	△17.8 (38.7億円 ↑)	1.6 (3.5億円 ↑)
未処分利益剰余金 < △累積欠損金 > (億円)		△2,151.8 (4.5億円 ↓)	△132.9 (17.9億円 ↓)	△14.2 (1.6億円 ↑)

2 経営の状況
事業別の状況

		日暮里・舎人 ライナー	上野動物園 モノレール <small>※2019年11月1日から運行休止</small>	発電
(販売電力量) 乗車人員	年間 (万人・MWh)	3,078 (9.7% ↑)	— (—)	95,452 (17.8% ↓)
	一日平均 (万人・kWh)	8.4 (8.8% ↑)	— (—)	261,513 (17.8% ↓)
(電力料収入) 乗車料収入	年間 (億円)	55 (10.4% ↑)	— (—)	9.7 (17.8% ↓)
	一日平均 (万円)	1,499 (9.5% ↑)	— (—)	265 (17.8% ↓)
経常損益 (億円)		△2.1 (6.4億円 ↑)	— (—)	1.8 (1.3億円 ↓)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)		△188.2 (2.1億円 ↓)	3.1 (—)	1.8 (1.5億円 ↓)

2022年度決算情報について

2022年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 決算
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>



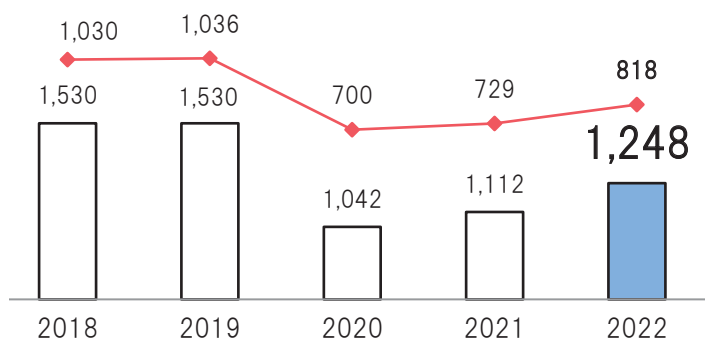
営業収益（2018年度－2022年度）

売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

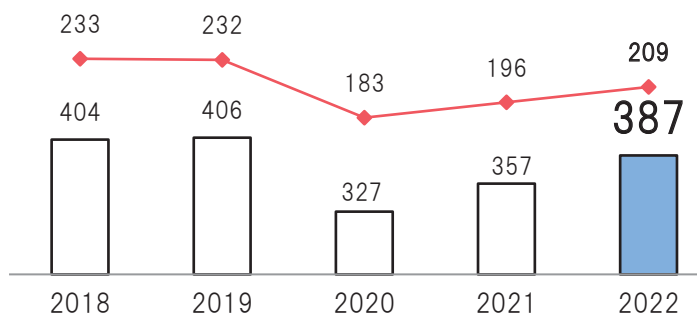
○ 2022年度は、全事業合計の営業収益は1,731億7千3百万円となり、前年度から11.1%増加しました。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した乗車人員は、一部回復の兆しが見られ、発電を除く4つの事業で営業収益が増加しましたが、引き続き厳しい経営状況に置かれています。

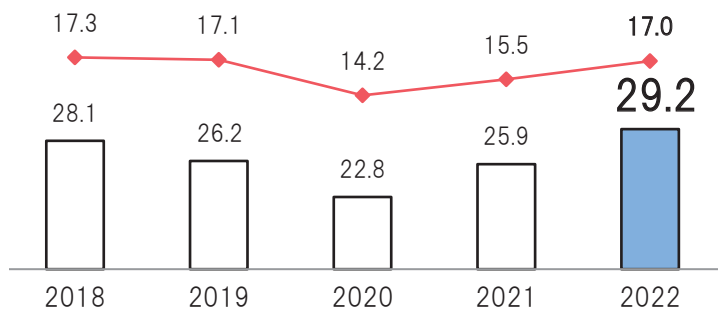
都営地下鉄



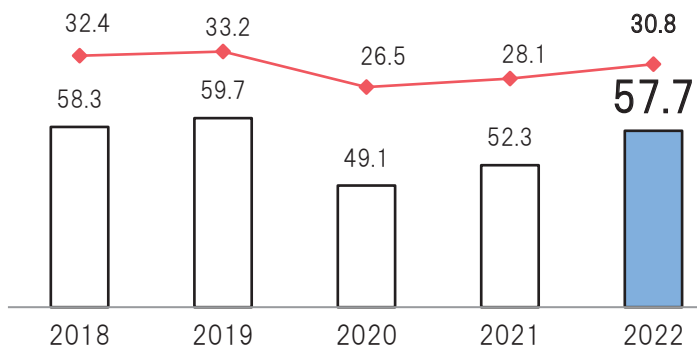
都営バス



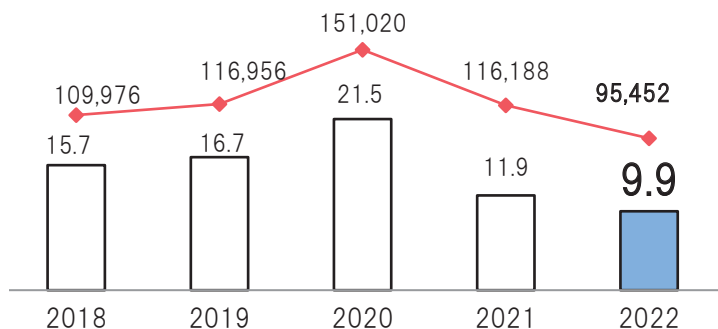
東京さくらトラム （都電荒川線）



日暮里・舎人ライナー



発電



【凡例】

□ 営業収益(億円/年)

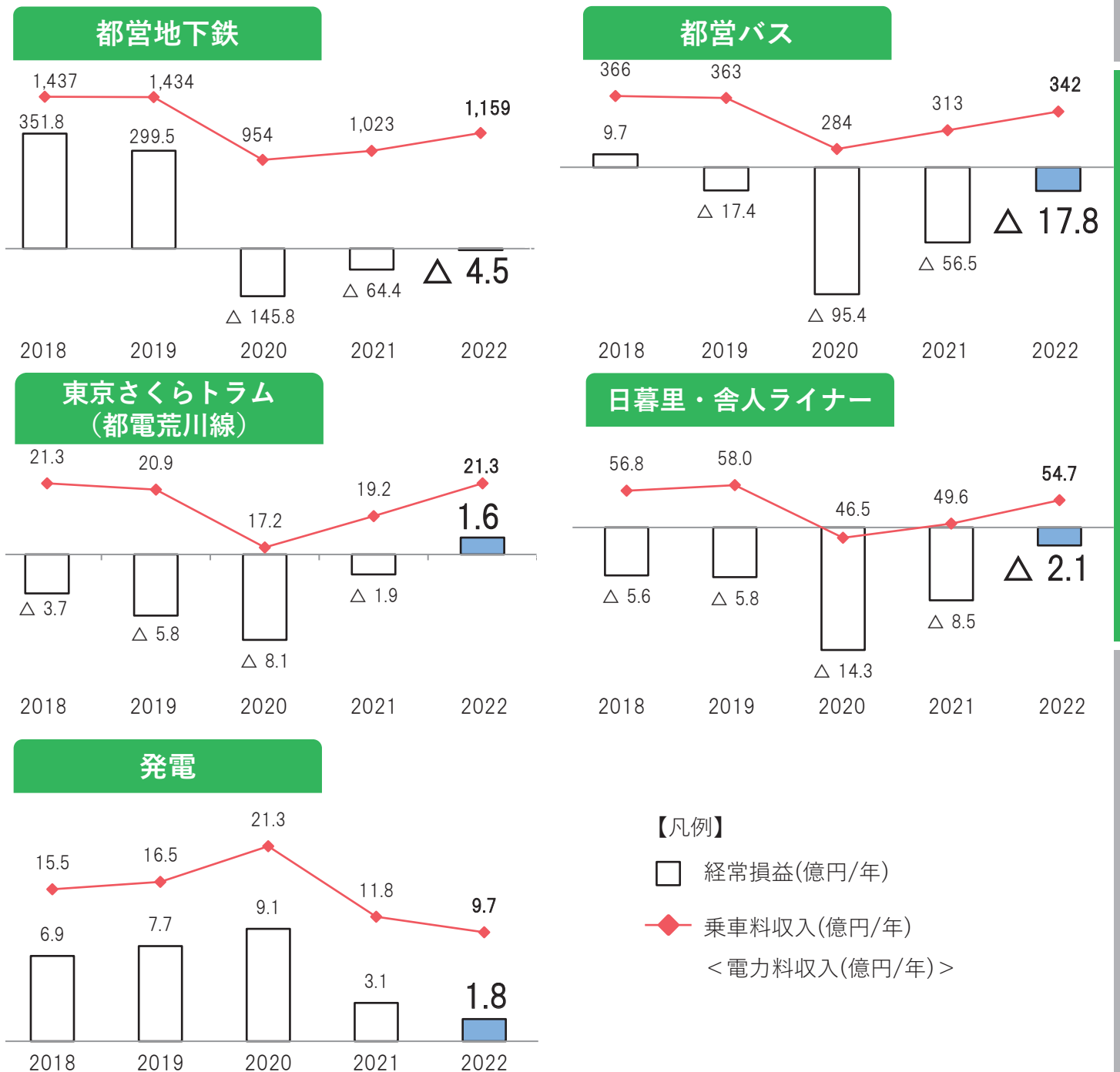
◆ 乗車人員(百万人/年)

< 販売電力量(MWh/年) >

経常損益（2018年度－2022年度）

企業が日常的に行っている業務の中で計上した損益で、本業の損益に補助金による収入や企業債利息の支出等を加えたものです。

- 2022年度は、全事業合計の経常損益は21億3百万円の赤字となりましたが、前年度から107億7百万円改善しました。
- 乗車料収入の増加などにより発電を除く4つの事業で経常損益が改善したものの、依然として厳しい経営環境に置かれています。



損益計算書 (2022年度)

(単位：百万円)

		交通事業会計					高速電車事業会計	電気事業会計	合計
		都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)	日暮里・舎人ライナー	モノレール	計	都営地下鉄	発電	
収入	営業収益 ※1	38,669	2,923	5,770	-	47,362	124,817	994	173,173
	営業外収益 ※2	1,812	4,054	1,297	-	7,163	13,199	28	20,389
	特別利益 ※3	14	-	-	-	14	-	-	14
支出	営業費用 ※4	41,917	2,754	5,823	-	50,494	134,970	845	186,310
	営業外費用 ※5	342	4,064	1,456	-	5,862	3,493	0	9,355
	特別損失 ※6	21	-	-	-	21	-	-	21
損益	営業損益 ※7	△ 3,248	170	△ 53	-	△ 3,132	△ 10,154	148	△ 13,137
	経常損益 ※8	△ 1,779	159	△ 212	-	△ 1,831	△ 448	176	△ 2,103
	純損益 ※9	△ 1,786	159	△ 212	-	△ 1,839	△ 448	176	△ 2,111
当年度末未処分利益剰余金		△ 13,290	△ 1,419	△ 18,819	309	△ 33,220	△ 215,175	176	△ 248,220

※1 営業収益

乗車料収入（電力料収入）や広告料収入など、営業活動から生じる収益

※2 営業外収益

預金利息や株式配当金、受託工事収入、補助金など、営業活動以外から生じる収益

※3 特別利益

固定資産売却益や過年度損益修正益など、経常的に発生しない臨時的な利益

※4 営業費用

物件費や減価償却費など、営業活動に要する費用

※5 営業外費用

企業債利息や受託工事費など、営業活動以外の活動に要する費用

※6 特別損失

固定資産売却損や過年度損益修正損など、経常的に発生しない臨時的な損失

※7 営業損益

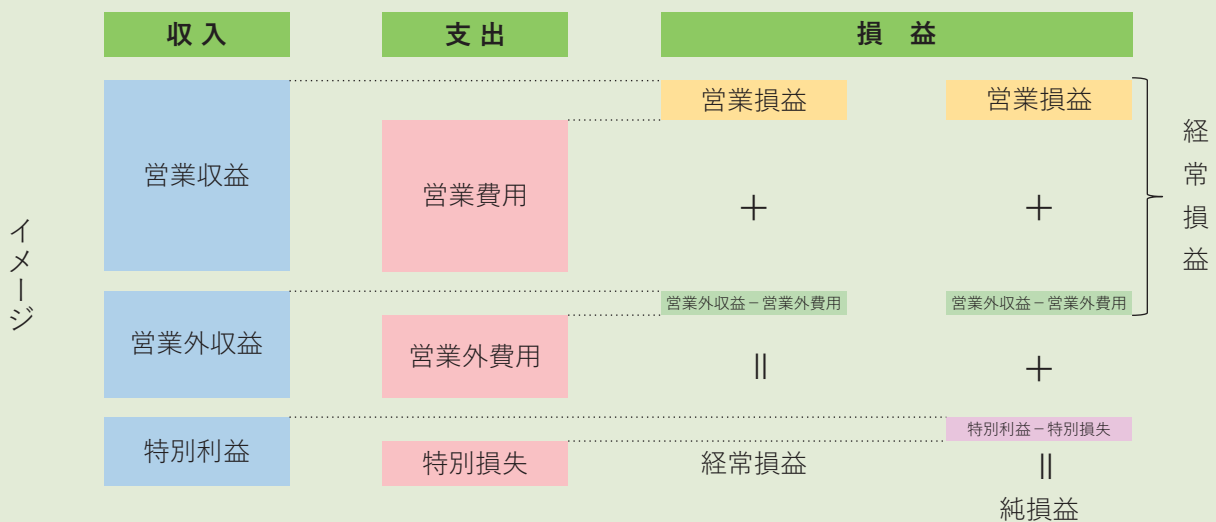
営業収益 - 営業費用

※8 経常損益

営業損益 + 営業外収益 - 営業外費用

※9 純損益

経常損益 + 特別利益 - 特別損失

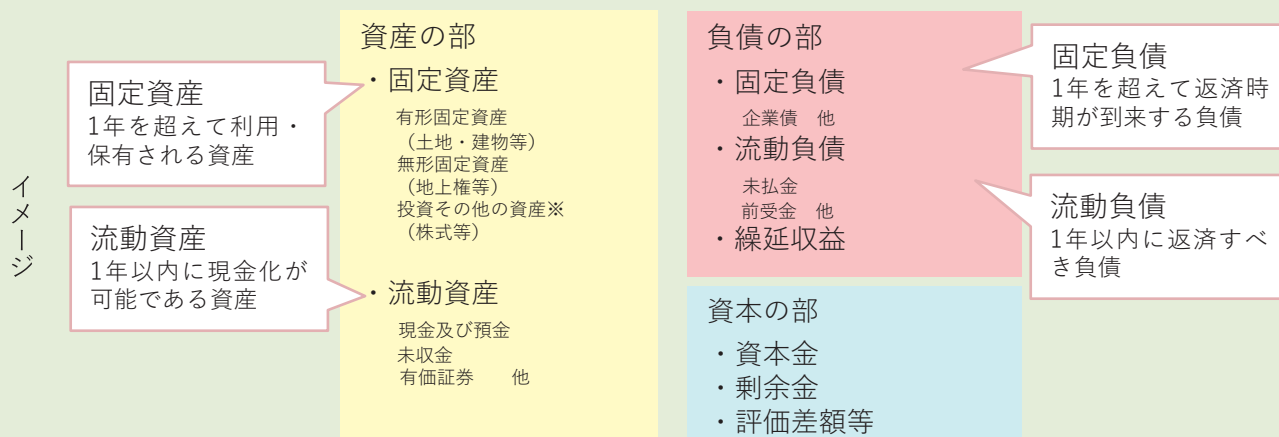


貸借対照表 (2022年度)

(単位：百万円)

高速電車事業会計	交通事業会計	電気事業会計																												
<table border="1"> <tr> <td>固定資産 1,335,013</td> <td>固定負債 640,728</td> </tr> <tr> <td>流動資産 156,522</td> <td>流動負債 78,840</td> </tr> <tr> <td></td> <td>繰延収益 383,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資本金 503,680</td> </tr> <tr> <td></td> <td>剰余金 △ 115,560</td> </tr> </table>	固定資産 1,335,013	固定負債 640,728	流動資産 156,522	流動負債 78,840		繰延収益 383,847		資本金 503,680		剰余金 △ 115,560	<table border="1"> <tr> <td>固定資産 185,593</td> <td>固定負債 72,829</td> </tr> <tr> <td>流動資産 31,667</td> <td>流動負債 20,910</td> </tr> <tr> <td></td> <td>繰延収益 1,423</td> </tr> <tr> <td></td> <td>資本金 54,913</td> </tr> <tr> <td></td> <td>剰余金 63,952</td> </tr> <tr> <td></td> <td>評価差額等 3,232</td> </tr> </table>	固定資産 185,593	固定負債 72,829	流動資産 31,667	流動負債 20,910		繰延収益 1,423		資本金 54,913		剰余金 63,952		評価差額等 3,232	<table border="1"> <tr> <td>固定資産 3,729</td> <td>固定負債 155 流動負債 117 繰延収益 522</td> </tr> <tr> <td>流動資産 7,397</td> <td>資本金 2,961</td> </tr> <tr> <td></td> <td>剰余金 7,371</td> </tr> </table>	固定資産 3,729	固定負債 155 流動負債 117 繰延収益 522	流動資産 7,397	資本金 2,961		剰余金 7,371
固定資産 1,335,013	固定負債 640,728																													
流動資産 156,522	流動負債 78,840																													
	繰延収益 383,847																													
	資本金 503,680																													
	剰余金 △ 115,560																													
固定資産 185,593	固定負債 72,829																													
流動資産 31,667	流動負債 20,910																													
	繰延収益 1,423																													
	資本金 54,913																													
	剰余金 63,952																													
	評価差額等 3,232																													
固定資産 3,729	固定負債 155 流動負債 117 繰延収益 522																													
流動資産 7,397	資本金 2,961																													
	剰余金 7,371																													

貸借対照表は、企業のある時点における資産・負債・資本を記載し、企業の財政状態を表したものです。左側が事業の財産（資産）を表し、右側が財産を得るための資金を表します。



※電気事業会計において、貸倒引当金を計上しています。

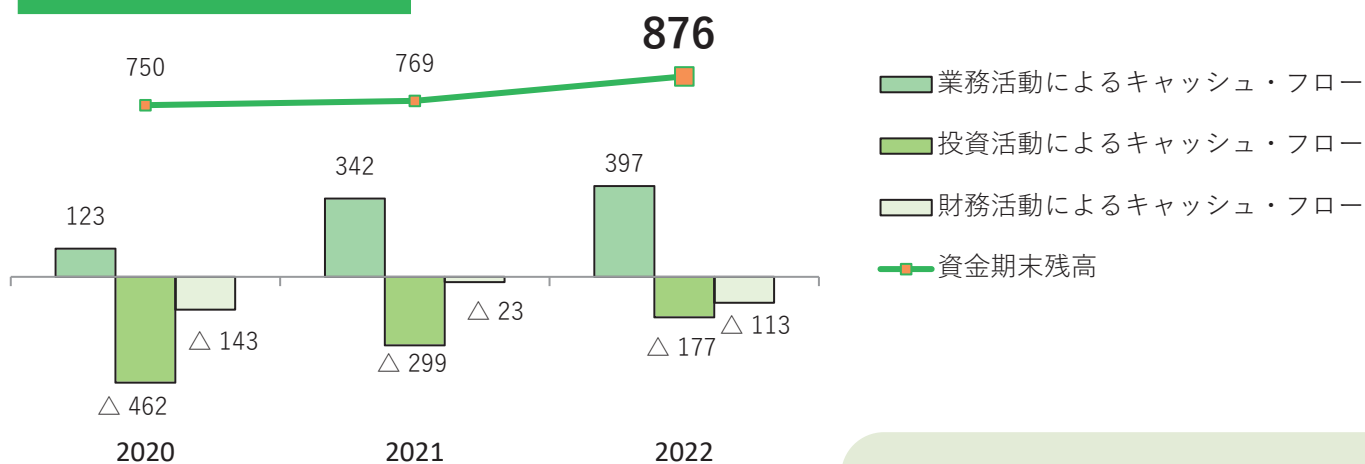
貸倒引当金の計上方法：

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上しています。

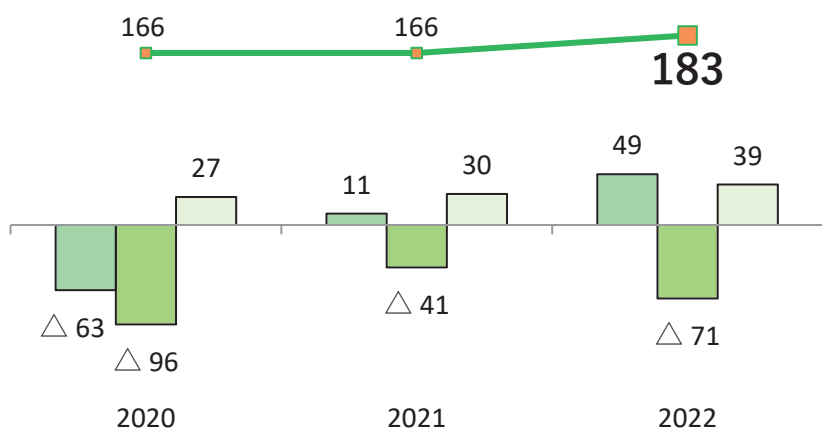
キャッシュ・フロー計算書 (2020-2022年度)

高速電車事業会計

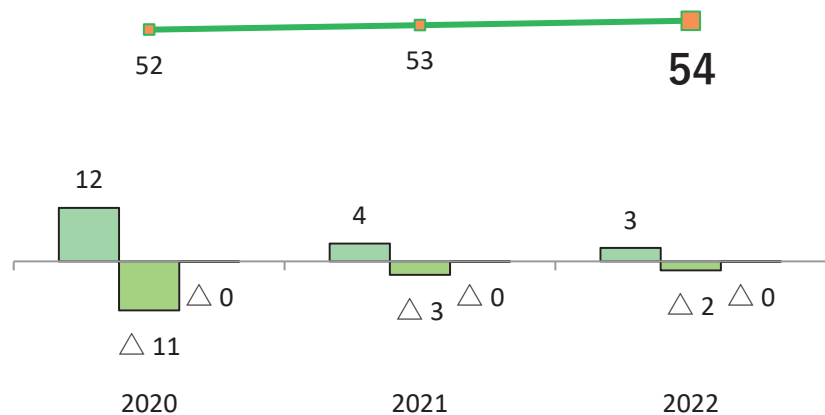
(単位：億円)



交通事業会計



電気事業会計



キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度における現預金の動きを、活動区別に表示したものです。

業務活動による キャッシュ・フロー

通常の業務活動の実施による資金の収支や投資活動、財務活動以外の収支を表します。

投資活動による キャッシュ・フロー

通常の業務活動の基礎となる固定資産の取得及び売却の収支を表します。

財務活動による キャッシュ・フロー

増資、減資による収支や資金調達、返済に関する収支を表します。

2 経営の状況
運輸成績表

運輸成績表 (2022年度)

事業名	車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
			年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄	1,216	124,902	8.2	224.2	1,159	31,745
浅 草 線	216	21,889	2.2	60.0	258	7,056
三 田 線	248	24,085	2.0	54.8	255	6,974
新 宿 線	280	32,085	2.4	64.8	313	8,583
大 江 戸 線	472	46,843	2.7	75.0	333	9,132
都 営 バ ス	1,473	44,181	2.1	57.4	342	9,364
乗 合	1,468	44,056	2.1	57.3	340	9,327
貸 切	5	125	0.002	0.04	1	36
東京さくらトラム (都電荒川線)	33	1,475	0.2	4.7	21	585
日暮里・舎人 ライナー	100	8,124	0.3	8.4	55	1,499
上野動物園 モノレール	—	—	—	—	—	—
合 計	2,822	—	10.8	294.7	1,577	43,193
発 電	水力発電所 (3か所) 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW				販売電力量 95,452MWh 電力料収入 966百万円	

(注)

- 1 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではありません。
- 2 上野動物園モノレールは、2019年11月1日から運行を休止しています。

地下鉄路線別収支状況・駅別一日平均乗降人員（2022年度）

A 浅草線

乗車人員	60 万人／日
乗車料収入	0.7 億円／日
収益的収入	280 億円
収益的支出	238 億円
損益額	43 億円
営業係数	85

I 三田線

乗車人員	55 万人／日
乗車料収入	0.7 億円／日
収益的収入	283 億円
収益的支出	267 億円
損益額	16 億円
営業係数	94

(単位：人・%)

順位	駅名	2022年度	前年比
1	日本橋	78,113	12.0
2	新橋	71,376	18.6
3	東日本橋	67,896	12.0
4	東銀座	67,709	16.5
5	五反田	52,651	8.4
6	浅草橋	50,828	18.4
7	押上	48,757	21.4
8	浅草	45,976	38.0
9	人形町	45,135	14.3
10	西馬込	39,302	6.0
11	三田	38,836	14.1
12	大門	38,075	14.3
13	蔵前	33,542	18.9
14	泉岳寺	26,185	7.1
15	宝町	25,109	10.4
16	中延	24,417	4.4
17	馬込	23,527	7.7
18	戸越	18,291	7.1
19	本所吾妻橋	17,554	15.3
20	高輪台	12,110	8.3

(単位：人・%)

順位	駅名	2022年度	前年比
1	大手町	88,646	13.4
2	巢鴨	82,086	13.1
3	日比谷	71,530	14.4
4	神保町	52,921	16.1
5	白山	42,662	46.4
6	水道橋	39,938	28.8
7	御成門	38,199	9.8
8	三田	35,626	17.9
9	板橋本町	32,635	9.2
10	春日	31,651	13.0
11	板橋区役所前	31,287	7.2
12	内幸町	29,846	10.4
13	千石	28,140	14.0
14	志村三丁目	28,004	6.8
15	志村坂上	27,062	5.8
16	西巢鴨	26,467	13.9
17	新板橋	26,262	7.9
18	高島平	25,179	4.1
19	芝公園	23,262	12.0
20	西台	22,647	5.7
21	本蓮沼	22,378	9.1
22	白金高輪	20,533	9.3
23	目黒	18,907	12.4
24	蓮根	17,632	8.4
25	西高島平	11,687	6.6
26	白金台	8,727	13.2
27	新高島平	8,637	4.9

路線別収支

駅別一日平均乗降人員

S 新宿線

乗車人員	65 万人/日
乗車料収入	0.9 億円/日
収益的収入	354 億円
収益的支出	319 億円
損益額	35 億円
営業係数	90

E 大江戸線

乗車人員	75 万人/日
乗車料収入	0.9 億円/日
収益的収入	462 億円
収益的支出	560 億円
損益額	△98 億円
営業係数	121

(単位：人・%)

(単位：人・%)

順位	駅名	2022年度	前年比
1	馬喰横山	96,253	11.6
2	九段下	95,386	18.8
3	新宿	84,501	13.6
4	市ヶ谷	78,112	10.3
5	本八幡	66,008	4.6
6	小川町	62,423	11.6
7	新宿三丁目	61,167	16.7
8	船堀	53,981	6.1
9	瑞江	49,991	6.7
10	岩本町	45,991	13.4
11	神保町	41,740	10.3
12	一之江	39,354	7.5
13	住吉	37,040	7.8
14	篠崎	36,382	5.3
15	曙橋	33,879	10.2
16	大島	28,834	6.3
17	東大島	27,592	7.4
18	西大島	24,873	8.3
19	菊川	21,160	5.2
20	森下	20,538	11.0
21	浜町	18,635	12.2

順位	駅名	2022年度	前年比
1	勝どき	74,776	1.1
2	六本木	70,822	17.7
3	練馬	69,511	7.6
4	門前仲町	68,596	8.3
5	新宿	64,131	15.1
6	月島	59,007	13.9
7	青山一丁目	55,950	15.2
8	光が丘	52,831	6.1
9	大門	50,185	11.4
10	新御徒町	48,246	11.8
11	上野御徒町	47,215	12.5
12	新宿西口	46,745	8.9
13	都庁前	39,957	12.3
14	中野坂上	34,883	8.5
15	清澄白河	34,819	11.5
16	東新宿	31,429	11.1
17	赤羽橋	29,896	18.7
18	蔵前	29,569	17.2
19	両国	28,397	9.8

順位	駅名	2022年度	前年比
20	麻布十番	28,082	10.4
21	代々木	27,628	11.3
22	西新宿五丁目	27,336	8.0
23	汐留	27,203	21.9
24	若松河田	26,565	3.0
25	新江古田	26,088	7.3
26	飯田橋	24,744	10.4
27	落合南長崎	24,517	7.7
28	春日	23,370	13.4
29	東中野	22,842	6.0
30	中井	22,186	12.1
31	練馬春日町	20,673	7.2
32	築地市場	19,620	12.3
33	牛込柳町	18,826	7.5
34	本郷三丁目	18,389	12.9
35	森下	12,766	9.1
36	牛込神楽坂	12,431	9.2
37	国立競技場	10,424	43.3
38	豊島園	9,698	13.0

(注)

- 2022年度決算値をもとに推計しています。
- 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分しています。
- 乗車人員は、乗車券の発売等のデータをもとに推計しています。
- 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけかの支出が必要かを示す数値です。
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。
- 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合があります。

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

バス系統別収支状況 (2022年度)

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
1	都07	錦糸町駅前～門前仲町	20,165	3,090	272,649	78
2	東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	16,414	2,611	245,926	77
3	品99	品川駅港南口～(品川埠頭循環)～品川駅港南口	8,914	1,566	197,398	69
4	北47	足立清掃工場前～北千住駅前	10,082	1,671	167,999	75
5	新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	12,855	2,019	159,754	81
6	錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	15,262	2,345	154,865	84
7	王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	9,679	1,561	133,575	79
8	上58	早稲田～上野松坂屋前	10,145	1,617	101,673	85
9	都02	大塚駅前～錦糸町駅前	18,476	2,978	85,278	93
10	上69	小滝橋車庫前～(上野公園循環)～小滝橋車庫前	6,448	1,068	75,947	83
11	草63	池袋駅東口～浅草寿町(往路)、雷門一丁目(復路)	11,381	1,846	64,823	92
12	新小22	葛西駅前～新小岩駅前	8,288	1,299	61,144	89
13	王40	池袋駅東口～西新井駅前	20,581	3,350	54,453	96
14	葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	6,353	1,020	46,408	89
15	白61	練馬車庫前～新宿駅西口	12,821	2,169	40,448	96
16	池65	練馬車庫前～池袋駅東口	4,977	833	38,379	89
17	田87	渋谷駅前～田町駅前	9,301	1,584	33,810	95
18	都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	9,904	1,583	31,431	95
19	飯64	小滝橋車庫前～(九段下循環)～小滝橋車庫前	4,499	756	24,387	92
20	門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	7,615	1,178	19,725	96
21	東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	8,780	1,532	17,598	97
22	学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	2,946	427	17,144	90
23	王55	王子駅前～新田一丁目	6,335	1,031	15,817	96
24	里22	日暮里駅前～亀戸駅前	7,182	1,116	13,670	97
25	錦18	錦糸町駅前～新木場駅前	3,296	531	8,603	94
26	亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	4,961	760	7,419	98
27	臨海28	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	8,434	1,379	2,108	100
28	西葛20	西葛西駅前～なぎさニュータウン	5,603	898	1,361	100
29	葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	3,868	608	△1,475	101
30	西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	3,838	608	△1,515	101
31	F L 0 1	葛西駅前～錦糸町駅前	1,029	156	△1,747	108
32	井92	大井町駅東口～(八潮パークタウン循環)～大井町駅東口	4,058	663	△1,795	101
33	錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	920	143	△2,568	104
34	上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	6,234	980	△3,103	101
35	端44	北千住駅前～駒込病院前	5,480	903	△3,653	101
36	東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	7,684	1,250	△4,230	101
37	王45	王子駅前～北千住駅前	1,661	274	△4,425	104
38	直行02	豊海水産埠頭～東京駅八重洲口	68	12	△5,293	231
39	新小29	葛西駅前～東新小岩四丁目	5,663	900	△5,355	101
40	亀29	なぎさニュータウン～亀戸駅前	6,683	1,004	△7,109	102
41	錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	4,194	658	△8,978	103
42	A L 0 1	東大島駅前～(小松川さくらホール前循環)～東大島駅前	324	39	△9,981	179
43	飯62	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	396	63	△10,515	137
44	練68	練馬駅～目白駅	126	21	△11,555	251
45	臨海22	臨海車庫～船堀駅前	472	73	△12,100	137
46	陽20	東陽町駅前～東大島駅前	601	91	△13,949	134
47	亀26	今井～亀戸駅前	3,087	472	△14,047	107
48	草41	足立梅田町～浅草寿町	5,173	822	△14,579	104
49	反94	五反田駅～赤羽橋駅前	164	29	△14,759	198
50	C・H01	新宿駅西口～(都庁第一本庁舎循環)～新宿駅西口	344	61	△15,103	154

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

系統番号	区間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数	
		(人/日)	(千円/日)	(千円)		
51	亀23	亀戸駅前～(江東高齢者医療センター循環)～亀戸駅前	1,850	291	△ 15,364	112
52	平28	東大島駅前～(平井駅前循環)～東大島駅前	1,318	206	△ 15,993	118
53	田99	品川駅港南口～田町駅東口	161	26	△ 16,379	216
54	錦40	南千住駅東口～錦糸町駅前	641	101	△ 16,528	136
55	井98	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	991	182	△ 17,071	126
56	上01	東大構内～(上野公園山下循環)～東大構内	778	138	△ 17,876	129
57	急行05	錦糸町駅前～日本科学未来館	3,440	572	△ 18,360	122
58	学05	目白駅前～(日本女子大循環)～目白駅前	2,089	258	△ 18,446	123
59	豊洲01	豊洲駅前～(豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環)～豊洲駅前	780	134	△ 18,726	145
60	井96	大井町駅東口～(天王洲アイル循環)～大井町駅東口	518	88	△ 19,083	147
61	新小20	東新小岩四丁目～一之江駅前	481	80	△ 19,146	151
62	西葛26	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	668	104	△ 19,259	141
63	田92	品川駅港南口～田町駅東口	768	134	△ 20,162	141
64	錦27	小岩駅前～両国駅前	4,961	773	△ 20,361	106
65	亀24	葛西橋～亀戸駅前	4,404	673	△ 21,029	107
66	草39	金町駅前～上野松坂屋前	4,921	780	△ 21,379	106
67	船28	船堀駅前～篠崎駅前	406	62	△ 23,183	177
68	茶07	東大構内～(御茶ノ水駅前循環)～東大構内	738	140	△ 23,706	137
69	早77	早稲田～新宿駅西口	2,503	413	△ 24,594	114
70	東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	3,195	543	△ 27,168	111
71	茶51	駒込駅南口～秋葉原駅前	2,060	350	△ 29,225	119
72	草43	足立区役所～浅草雷門	2,074	324	△ 29,663	121
73	業10	新橋～とうきょうスカイツリー駅前	13,624	2,199	△ 29,921	103
74	錦37	青戸車庫前～錦糸町駅前	3,954	623	△ 30,000	111
75	秋26	葛西駅前～秋葉原駅前	5,239	819	△ 31,627	109
76	池86	池袋駅東口～(渋谷駅東口循環)～池袋駅東口	6,814	1,097	△ 32,476	107
77	葛西22	葛西駅前～一之江駅前	877	137	△ 33,296	153
78	品96	品川駅港南口～(天王洲アイル循環)～品川駅港南口	2,354	435	△ 33,310	118
79	王41	王子駅前～新田一丁目	2,913	470	△ 34,347	117
80	草24	東大島駅前～浅草寿町	1,584	244	△ 35,283	132
81	錦11	錦糸町駅前～築地駅前	1,743	285	△ 37,520	130
82	上60	池袋駅東口～上野公園	1,632	271	△ 38,307	131
83	宿91	新代田駅前～新宿駅西口	2,629	439	△ 38,448	120
84	渋66	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	2,723	469	△ 39,190	119
85	梅77	裏宿町～河辺駅北口	907	151	△ 41,327	158
86	平23	葛西駅前～平井駅前	1,887	292	△ 43,370	133
87	両28	葛西橋～両国駅前	2,549	394	△ 43,477	125
88	王78	新宿駅西口～王子駅前	4,973	819	△ 46,703	113
89	RH01	渋谷駅前～六本木ヒルズ	1,504	280	△ 48,212	137
90	梅76	裏宿町～上成木	1,662	225	△ 48,377	146
91	浜95	品川車庫前～東京タワー	633	107	△ 48,860	190
92	草64	池袋駅東口～浅草雷門南	6,419	1,033	△ 49,538	111
93	品91	品川駅港南口～(八潮パークタウン循環)～品川駅港南口	3,769	641	△ 49,609	118
94	学02	高田馬場駅前～早大正門	3,238	512	△ 51,948	123
95	梅74	裏宿町～(成木循環)～裏宿町	628	90	△ 52,254	212
96	品93	大井競馬場前～目黒駅前	7,626	1,292	△ 52,841	110
97	上26	亀戸駅前～上野公園	1,529	242	△ 52,953	148
98	橋63	小滝橋車庫前～新橋駅前	3,099	512	△ 54,279	124
99	宿74	新宿駅西口～東京女子医大前	1,521	251	△ 54,471	145
100	黒77	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	2,300	387	△ 54,653	132

2 経営の状況

事業別参考資料 都営バス

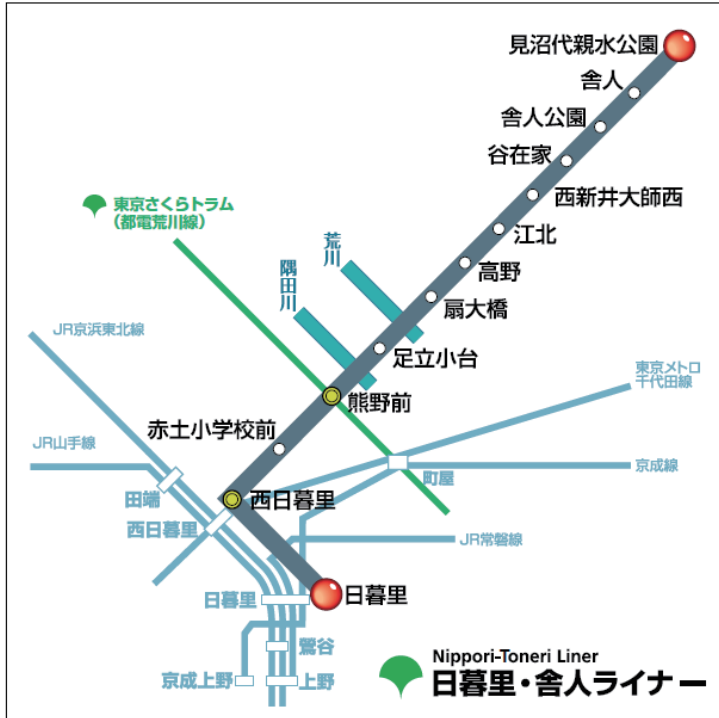
	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
101	門21	東大島駅前～門前仲町	1,905	292	△ 55,684	141
102	高71	高田馬場駅前～九段下	1,485	244	△ 56,864	149
103	宿75	新宿駅西口～三宅坂	869	144	△ 57,985	179
104	門19	深川車庫前～門前仲町	2,244	363	△ 58,077	135
105	都03	晴海埠頭～四谷駅	853	147	△ 58,248	180
106	上23	平井駅前～上野松坂屋前	4,676	730	△ 58,341	118
107	都05	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	11,943	2,102	△ 58,748	107
108	都04	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	6,102	1,061	△ 59,394	113
109	東43	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	7,265	1,184	△ 59,850	112
110	波01	東京テレポート駅前～中央防波堤	1,013	175	△ 64,838	177
111	学03	渋谷駅前～日赤医療センター前	5,301	751	△ 65,725	120
112	早81	早大正門～(渋谷駅東口循環)～早大正門	1,124	189	△ 66,832	170
113	王49	千住車庫前～王子駅前	4,870	786	△ 67,246	120
114	市01	新橋駅前～豊洲市場	1,783	316	△ 70,939	159
115	都06	渋谷駅前～新橋駅前	8,724	1,506	△ 71,984	111
116	木11	木場駅前～(東京リポート・新木場三丁目循環)～東陽町駅前	5,171	886	△ 72,269	119
117	錦13	錦糸町駅前～晴海埠頭	8,245	1,308	△ 74,601	113
118	渋88	渋谷駅前～新橋駅前	1,171	205	△ 76,634	172
119	品97	品川駅高輪口～新宿駅西口	5,047	837	△ 81,245	122
120	反96	五反田駅～六本木ヒルズ	2,847	489	△ 82,546	137
121	橋86	目黒駅前～新橋駅前	1,309	216	△ 90,268	184
122	陽12	東陽町駅前～昭和大学江東豊洲病院前	1,966	303	△ 91,129	163
123	品98	品川駅港南口～大田市場	3,488	634	△ 96,354	134
124	海01	門前仲町～東京テレポート駅前	9,981	1,579	△ 114,439	117
125	里48	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	701	116	△ 128,234	284
126	都01	渋谷駅前～新橋駅前	9,334	1,683	△ 148,873	119
127	梅70	青梅車庫前～花小金井駅北口	2,601	497	△ 199,023	185

(注)

- 1 運行受託路線は除きます。
- 2 2022年度決算値をもとに推計しています。
- 3 収入は、全体の金額を乗車人員等で各系統に配分しています。支出は、全体の金額を年間の走行距離等で各系統に配分しています。
- 4 乗車人員は、ICカードの実績等のデータをもとに推計しています。
- 5 営業係数は、その系統が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値です。支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。

日暮里・舎人ライナー駅別一日平均乗降人員（2022年度）

（単位：人・％）



駅名	2022年度	前年比
日暮里	48,252	9.3
西日暮里	30,119	9.1
見沼代親水公園	12,258	8.0
江北	12,107	16.8
西新井大師西	11,172	8.1
谷在家	9,863	6.7
扇大橋	9,289	5.5
舎人	8,480	7.7
熊野前	8,259	6.5
高野	5,917	8.4
赤土小学校前	5,055	6.1
舎人公園	4,446	9.9
足立小台	3,424	4.6

上野動物園モノレールについて

上野動物園の東園と西園を結ぶモノレールは、将来の新しい都市交通機関として実験的に建設した我が国で最初のモノレールです。

この路線は、動物園の遊戯施設ではなく、鉄道事業法に基づく交通機関です。

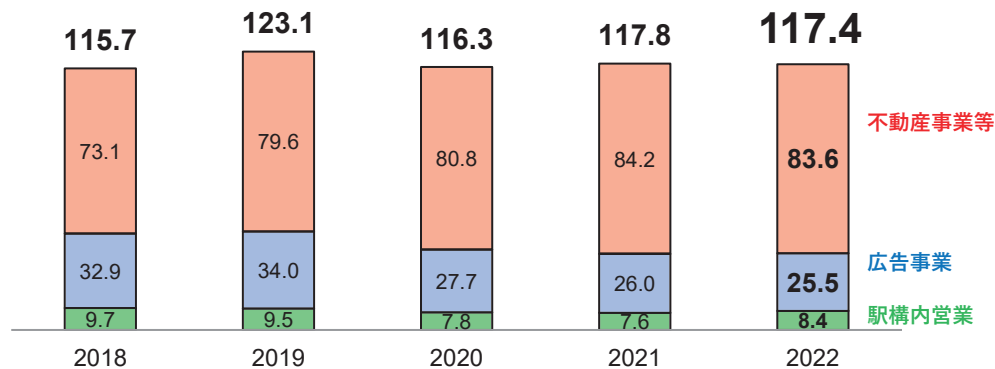
1957年の開業以来、交通局の施設として運営してきました。2000年に上野動物園を所管する東京都建設局に施設を無償で譲渡し、交通局がその施設を用いて運行を行っていましたが、2023年12月27日をもって廃止しました。（2019年11月1日から運行休止）

関連事業について

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。



関連事業収入（不動産事業等・広告事業・駅構内営業）の推移 (単位：億円)



不動産事業等

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。

このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等のアンテナ・基地局設置スペースの提供、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

収入 83.6 億円

(内訳)

・都営地下鉄	46.6 億円
・都営バス	32.7 億円
・東京さくらトラム (都電荒川線)	3.2 億円
・日暮里・舎人ライナー	0.8 億円
・発電	0.2 億円

<土地>	建物敷地（オフィス・商業ビル） 店舗敷地 駐車場、駐輪場
<建物>	共同ビル（目黒セントラルスクエア、ラティス 青山スクエア、東京交通会館、有楽 町駅前ビル“イトシア”） 駅出入口ビル（代々木クリスタルビル）
<構築物>	光ファイバーケーブル 携帯電話、Wi-Fi（無線LAN）基地局



東京交通会館



有楽町駅前ビル（イトシア）



目黒セントラルスクエア

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。

近年では、地下鉄車内液晶モニターの新設や駅構内デジタルサイネージの導入などに努めています。

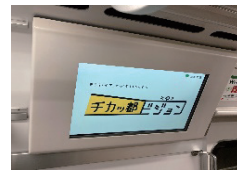
- <車両媒体> 中づりポスター
まど上ポスター
車内液晶モニター
ラッピングバス
- <駅媒体> 駅ばりポスター
電飾ボード
駅構内デジタルサイネージ
- <停留所> 広告付きバス停留所

収入 25.5 億円

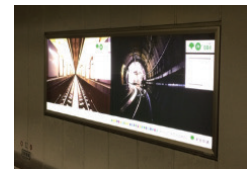
(内訳)

- ・都営地下鉄 18.8 億円
- ・都営バス 5.5 億円
- ・東京さくらトラム (都電荒川線) 0.7 億円
- ・日暮里・舎人ライナー 0.6 億円

* 0.1億円未満の事業は除く



車内液晶モニター



電飾ボード



駅構内デジタルサイネージ



広告付きバス停留所

駅構内営業

駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な施設を設けて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

- <店舗・売店> コンビニエンスストア
カフェ
期間限定ショップ
メルシー売店
- <サービス機器> 飲料自動販売機
金融機関ATM
コインロッカー
宅配受取ロッカー

収入 8.4 億円

(内訳)

- ・都営地下鉄 8.3 億円
- ・日暮里・舎人ライナー 0.1 億円



カフェ



期間限定ショップ



飲料自動販売機



コインロッカー



宅配受取ロッカー

3 経営指標比較

交通局の経営状況について、公表数値を使用して経営指標を算出し、交通局と同じ事業を運営する他団体（都市）の平均値との比較・分析を行いました。

なお、2022年度の数値は本レポート作成時点で未公表のため、各指標は2021年度までの数値を使用しています。

◆ 比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 神戸市 福岡市 【民営化】 (2018年度) 大阪市	8
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 伊那市 名古屋市 京都市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 鹿児島市 沖永良部バス企業団 【民営化】 (2018年度) 大阪市 【廃止】 (2019年度) 佐世保市 【運行休止】 (2020年度) 南アルプス市	22
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	函館市 東京都 熊本市 鹿児島市 【運行事業移管】 (2020年度) 札幌市	4
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都 【民営化】 (2018年度) 大阪市	1
電気事業/ 発電	北海道 寿都町 岩手県 秋田県 山形県 美浦村 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 金沢市 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県 鳥取県 北栄町 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 豊後大野市 宮崎県	31

(注)

- 1 他団体の使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」（平成29年度～令和3年度）によります。
2022年度数値は本レポート作成時点で未公表です。
- 2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含まれます。
- 3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均です（団体数は2021年度の数値）。
- 4 新交通事業は、比較対象の団体（1団体）が2018年度から民営化したため、平均値は2017年度までとしています。

3 経営指標比較 使用する指標

◆使用する指標

指標	算出式	単位	指標の説明
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の営業収支が黒字であることを示します。
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の経常収支が黒字であることを示します。
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	短期的な債務に対する支払能力を表します。 100%以上の場合、現金や1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払うべき債務を賄うことができることを示します。
累積欠損金比率	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}} \times 100$	%	事業の規模に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。）の状況を表します。
利用者1回当たり 運行経費	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間輸送人員}}$	円	地下鉄やバス等の運行において、利用者1人に1回利用していただくのに費用がどれだけ掛かっているかを表します。
他会計負担 比率	$\frac{\text{（他会計補助金} \\ + \text{他会計負担金）}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の負担によってどの程度賄われているかを表します。
企業債残高対 料金収入比率	$\frac{\text{企業債年度末残高}}{\text{料金収入}} \times 100$	%	料金収入に対する企業債（債券発行による、主に施設整備や資産取得のための借入れ）残高の割合です。
有形固定資産 減価償却率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産} \\ \text{帳簿原価}} \times 100$	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表します。一般的に、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることから、計画的な施設の更新等を検討する必要があるとされています。
走行キロ当たりの 収入	$\frac{\text{経常収益}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表します。
走行キロ当たりの 運送原価	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
走行キロ当たりの 人件費	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表します。
乗車効率	$\frac{\text{延人キロ}}{\text{（年間客車走行キロ} \\ \times \text{平均乗車定員数）}} \times 100$	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表します。
供給原価 ※発電のみ	$\frac{\text{（経常費用} \\ - \text{長期前受金戻入）}}{\text{（年間発電電力量} \\ - \text{自家発電電力量）}}$	円	販売電力量1KWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
設備利用率 ※発電のみ	$\frac{\text{年間発電電力量}}{\text{（最大出力} \\ \times \text{24h} \times \text{365日）}} \times 100$	%	最大出力で1年間発電し続けた場合に得られる電力量に対する実際に発電した年間発電量の割合です。どのような発電設備も定期点検があり、設備利用率は100%にはなりません。
修繕費比率 ※発電のみ	$\frac{\text{修繕費}}{\text{（営業費用} \\ - \text{職員給与費）}} \times 100$	%	営業費用（職員給与費を除く）のうち、施設のメンテナンス等に掛かっている費用の割合を表します。



高速電車事業 / 都営地下鉄

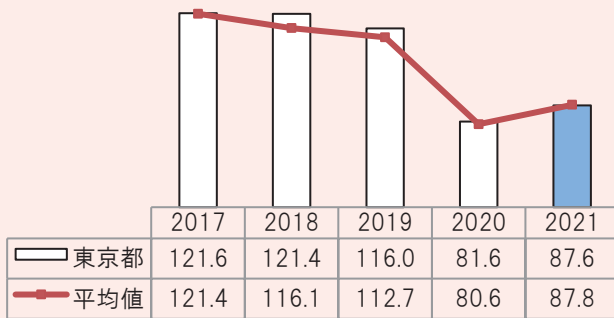
都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2021年度は、一日平均約200万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じたものの、100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少しており、平均値よりも低くなっています。

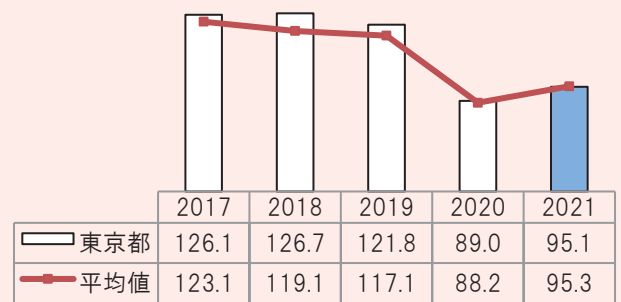
営業収支比率 (%)

87.6%



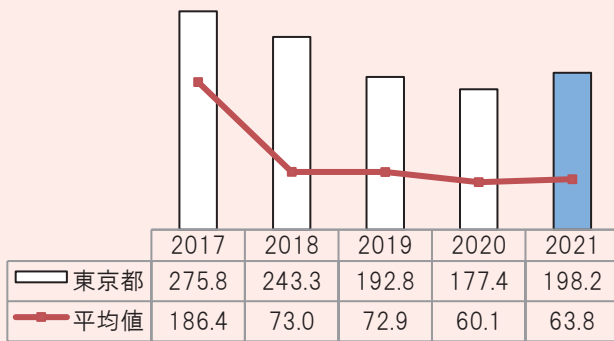
経常収支比率 (%)

95.1%



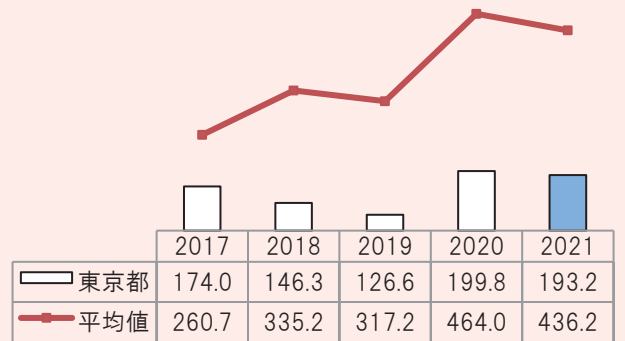
流動比率 (%)

198.2%



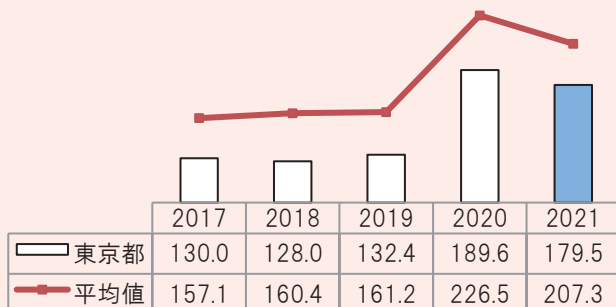
累積欠損金比率 (%)

193.2%



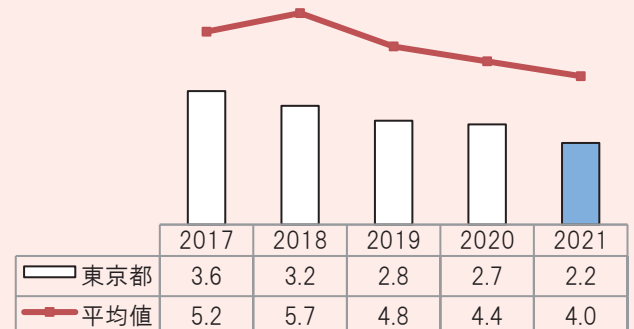
利用者1回当たり 運行経費 (円)

179.5円



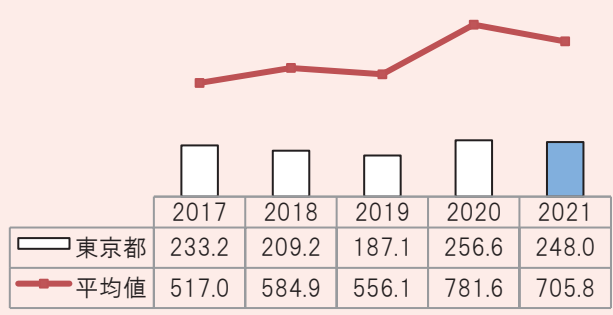
他会計負担比率 (%)

2.2%



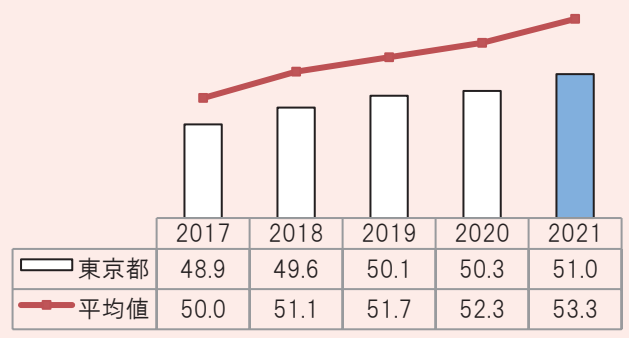
企業債残高対料金
収入比率 (%)

248.0%



有形固定資産
減価償却率 (%)

51.0%

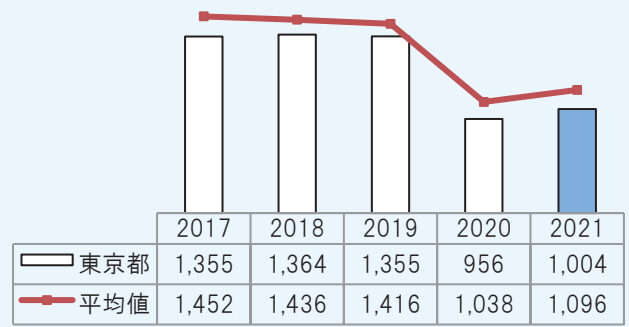


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも低い一方で、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも低くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

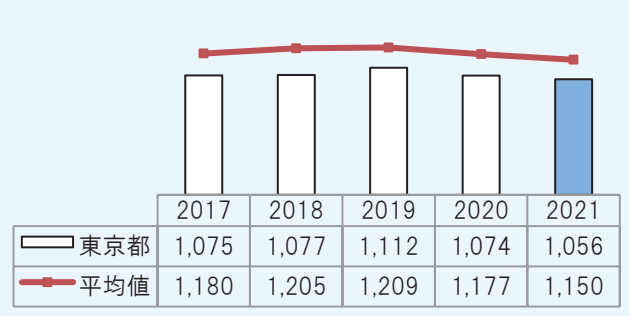
走行キロ当たり
の収入 (円)

1,004円



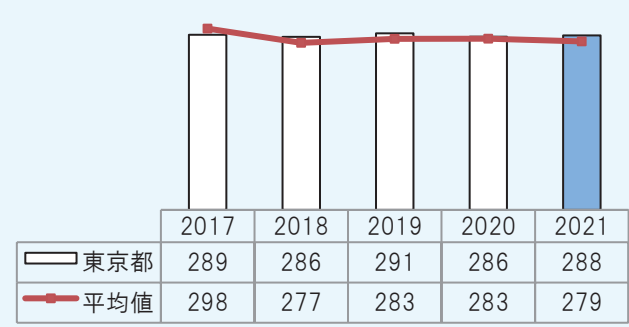
走行キロ当たり
の運送原価 (円)

1,056円



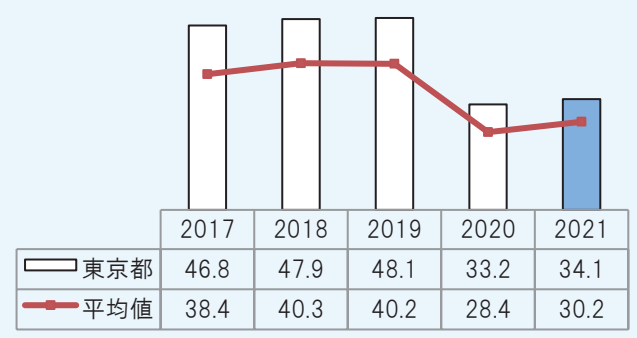
走行キロ当たり
の人件費 (円)

288円



乗車効率 (%)

34.1%



自動車運送事業 / 都営バス



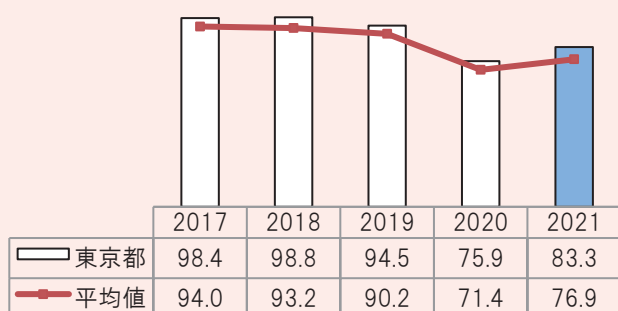
都営バスは、主に東京都のJR山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2021年度は、一日平均約54万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じたものの、100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は車両の更新等に係る企業債発行により増加し、平均値よりも高くなっています。

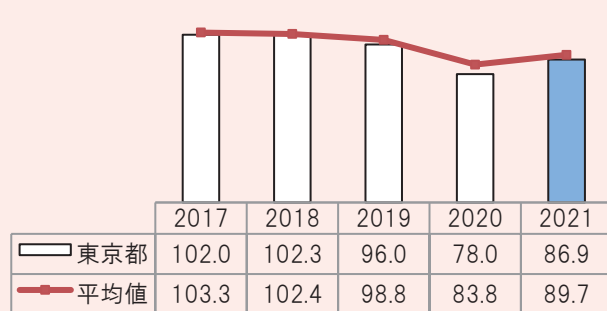
営業収支比率 (%)

83.3%



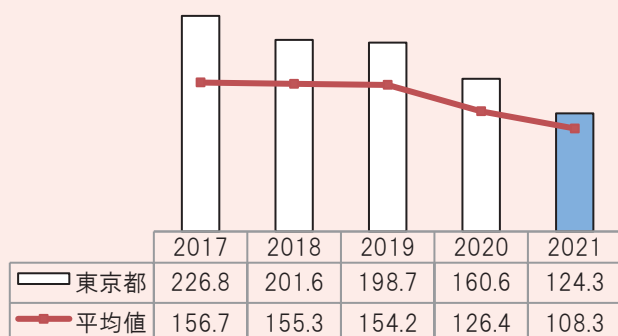
経常収支比率 (%)

86.9%



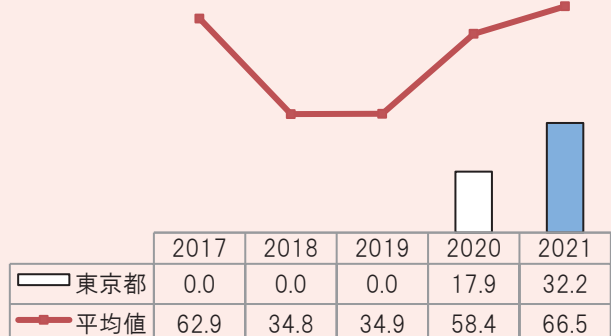
流動比率 (%)

124.3%



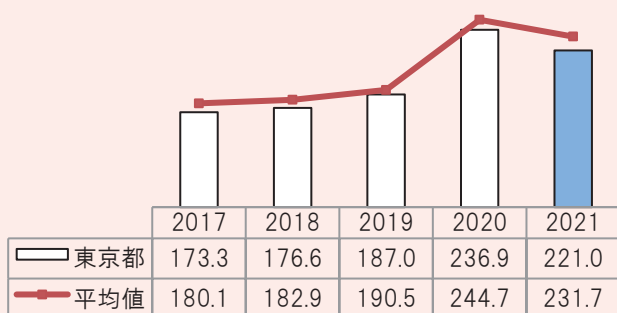
累積欠損金比率 (%)

32.2%



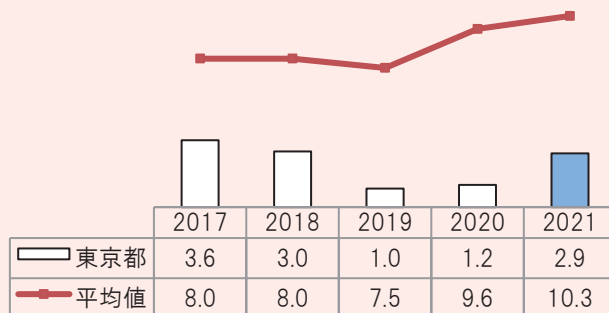
利用者1回当たり 運行経費 (円)

221.0円



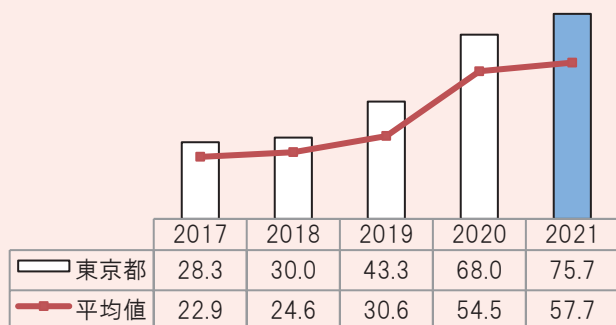
他会計負担比率 (%)

2.9%



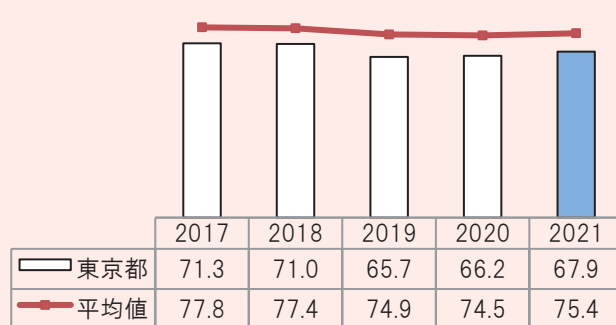
企業債残高対料金収入比率 (%)

75.7%



有形固定資産減価償却率 (%)

67.9%

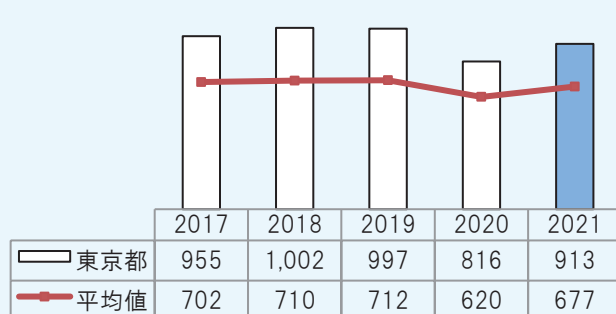


経営の効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

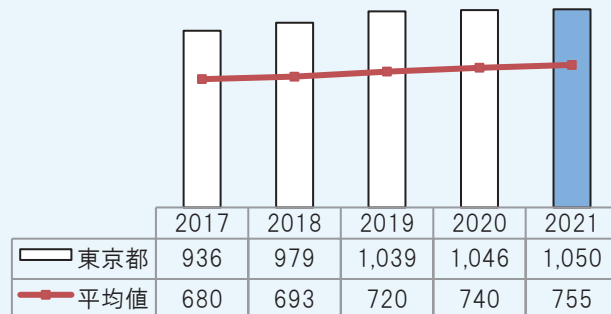
走行キロ当たりの収入 (円)

913円



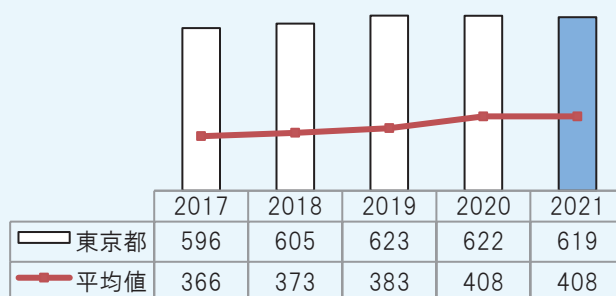
走行キロ当たりの運送原価 (円)

1,050円



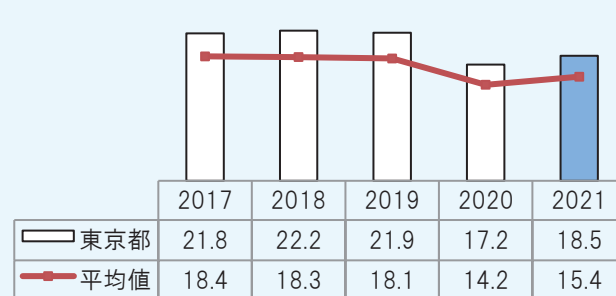
走行キロ当たりの人件費 (円)

619円



乗車効率 (%)

18.5%





軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

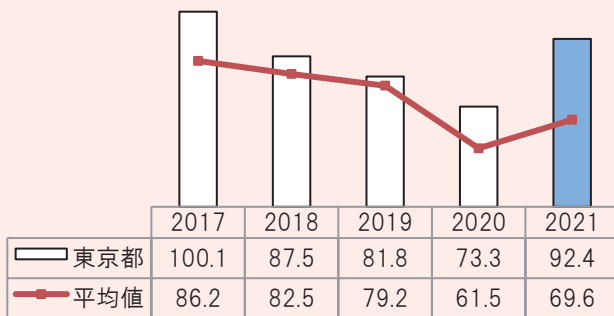
東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2021年度は、一日平均約4.3万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少し、平均値よりも低くなっています。

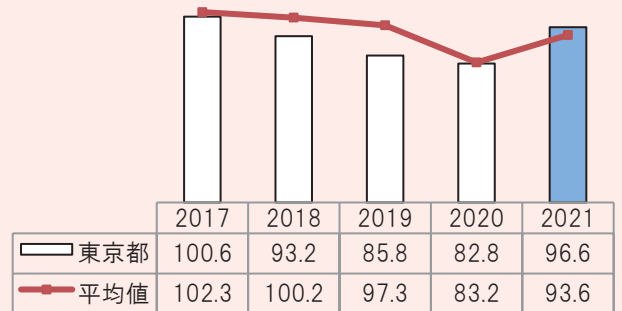
営業収支比率 (%)

92.4%



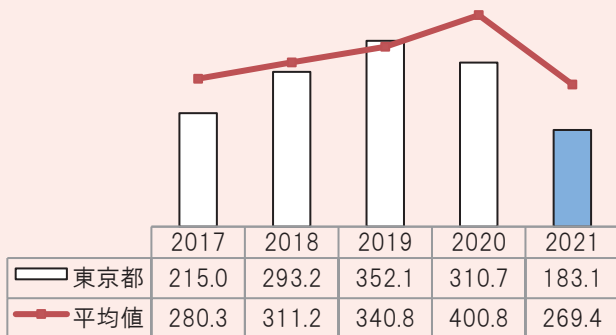
経常収支比率 (%)

96.6%



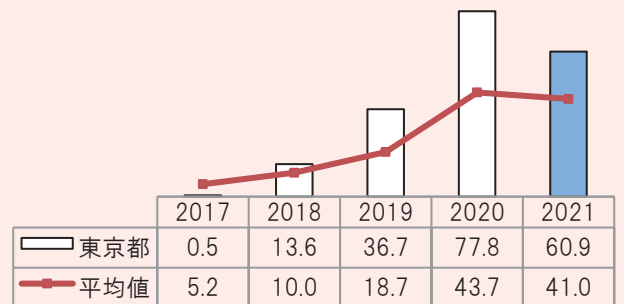
流動比率 (%)

183.1%



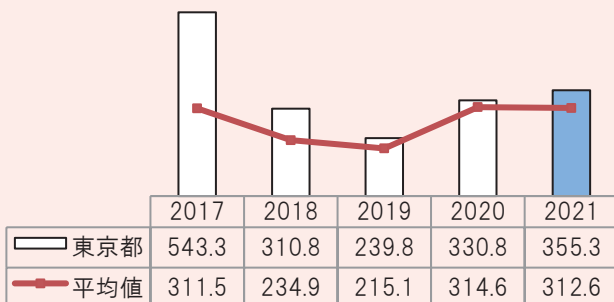
累積欠損金比率 (%)

60.9%



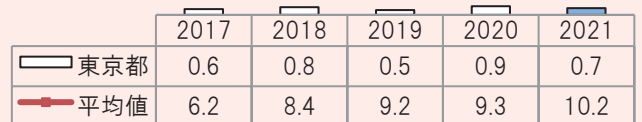
利用者1回当たり 運行経費 (円)

355.3円



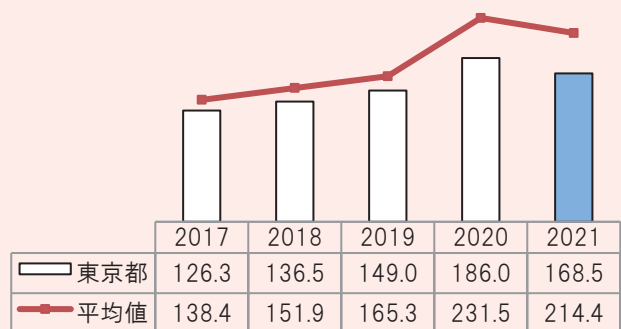
他会計負担比率 (%)

0.7%



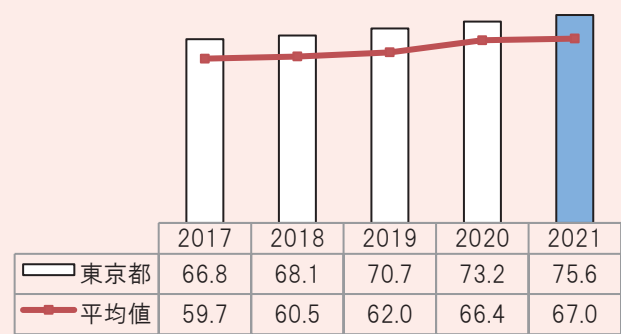
企業債残高対料金
収入比率 (%)

168.5%



有形固定資産
減価償却率 (%)

75.6%

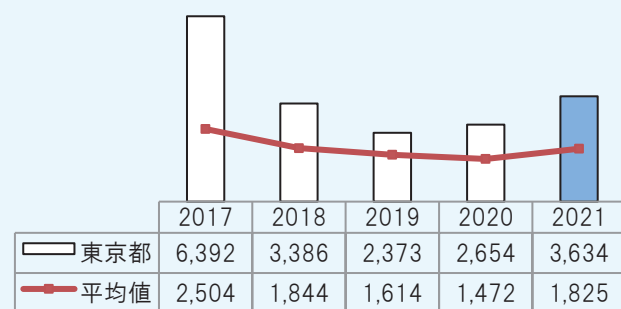


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

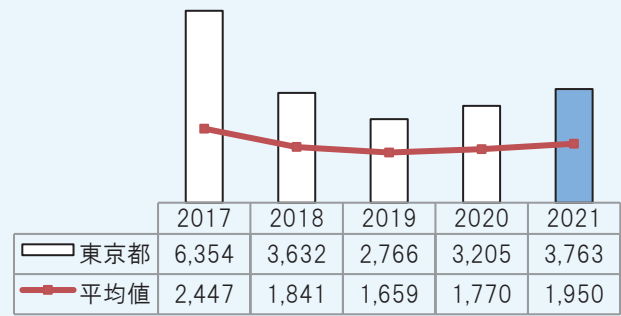
走行キロ当たり
の収入 (円)

3,634円



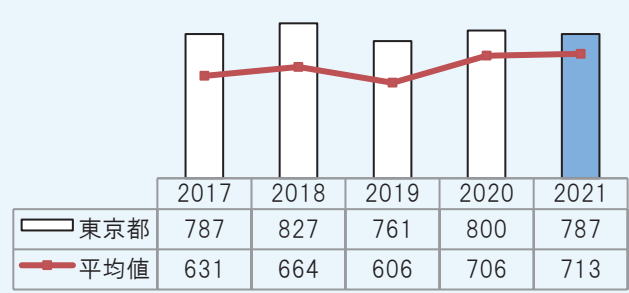
走行キロ当たり
の運送原価 (円)

3,763円



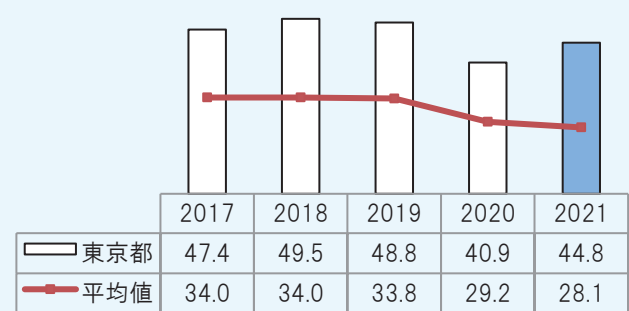
走行キロ当たり
の人件費 (円)

787円



乗車効率 (%)

44.8%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2021年度は、一日平均約7.8万人のお客様にご利用いただきました。

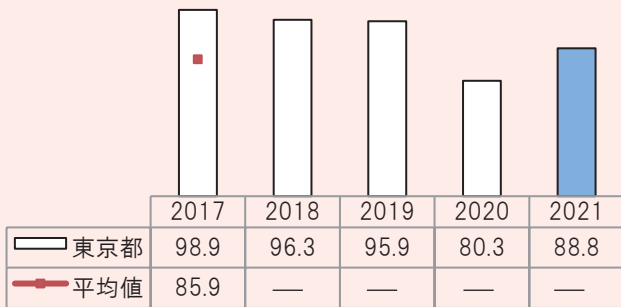
(注) 総務省の公表数値を使用しているため、懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。
また、比較対象の団体（1団体）が2018年度に民営化したことから、平均値は2017年度までとしている。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高の減少と料金収入の増加により減少しています。
- 「他会計負担金比率」は都営地下鉄や都営バスよりも低くなっています。

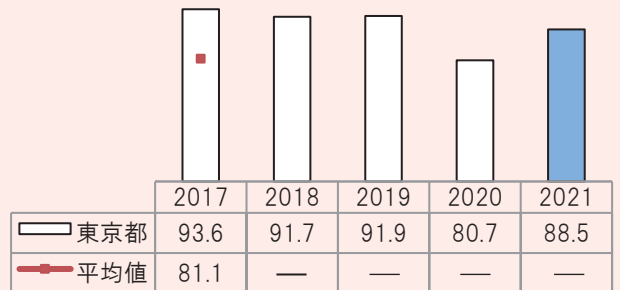
営業収支比率 (%)

88.8%



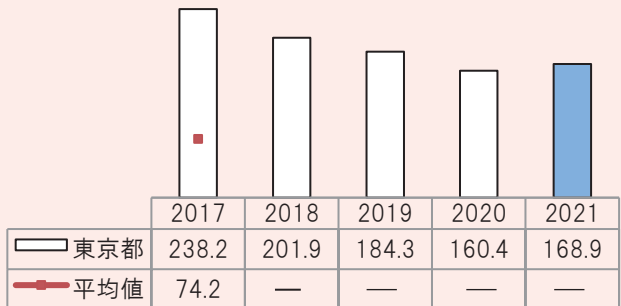
経常収支比率 (%)

88.5%



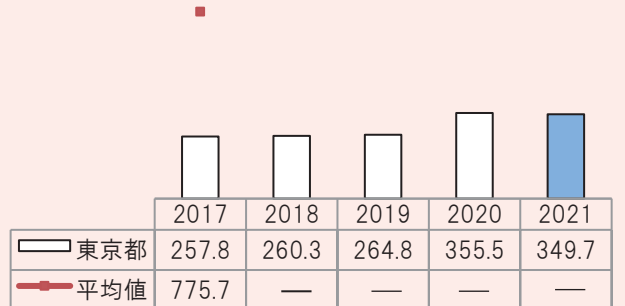
流動比率 (%)

168.9%



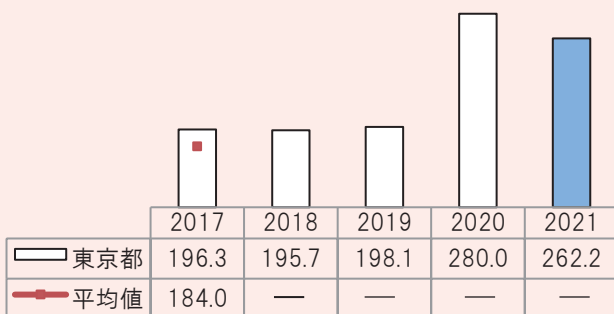
累積欠損金比率 (%)

349.7%



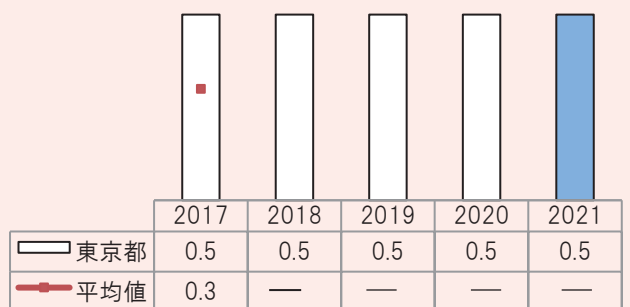
利用者1回当たり 運行経費 (円)

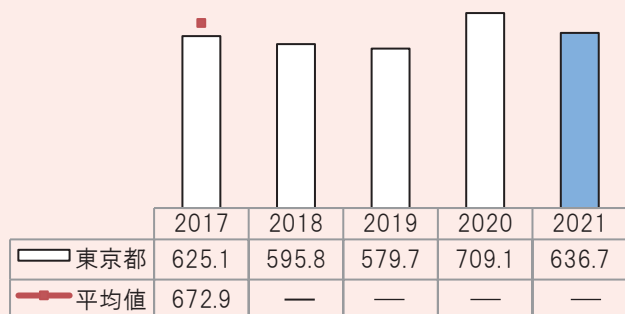
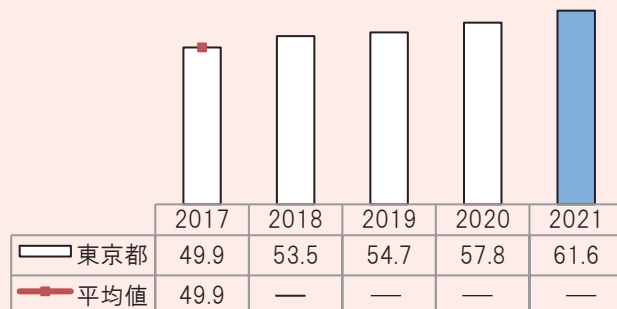
262.2円



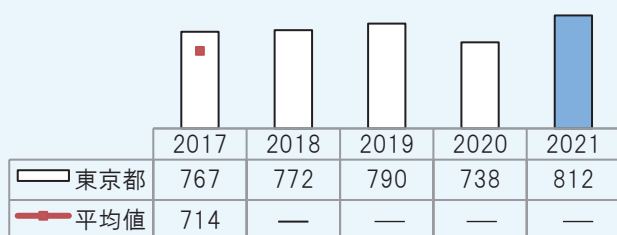
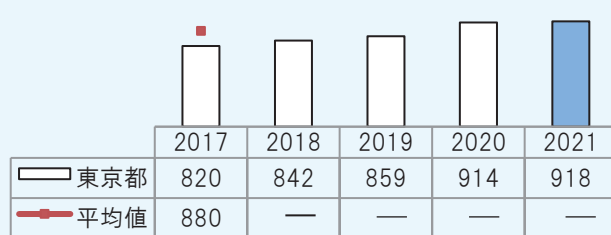
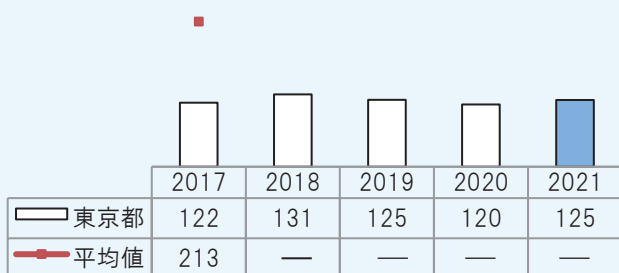
他会計負担比率 (%)

0.5%

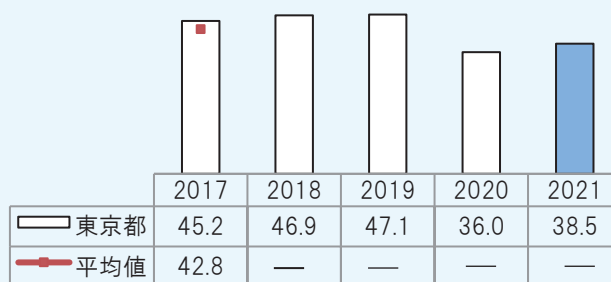


企業債残高対料金
収入比率 (%)**636.7%**有形固定資産
減価償却率 (%)**61.6%**経営の
効率性

- 「乗車効率」は都営地下鉄や東京さくらトラム（都電荒川線）と同程度となっています。
- 「利用者1回当たりの運行経費」は都営地下鉄よりも高く、東京さくらトラム（都電荒川線）よりも低くなっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)**812円**走行キロ当たり
の運送原価 (円)**918円**走行キロ当たり
の人件費 (円)**125円**

乗車効率 (%)

38.5%



電気事業 / 発電

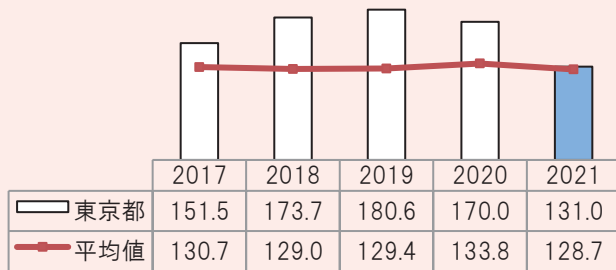
電気事業は1911年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運営しています。年間発電電力量は一般家庭35,000世帯分の使用量に相当します。

経営の状況

- 「経常収支比率」は2021年度に低下したものの、100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%を上回っており、平均値よりも高くなっています。

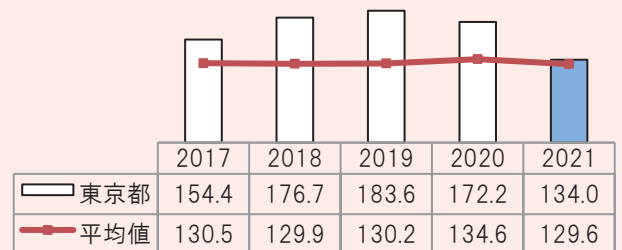
営業収支比率 (%)

131.0%



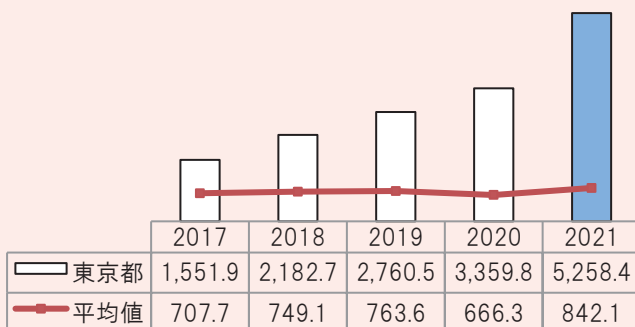
経常収支比率 (%)

134.0%



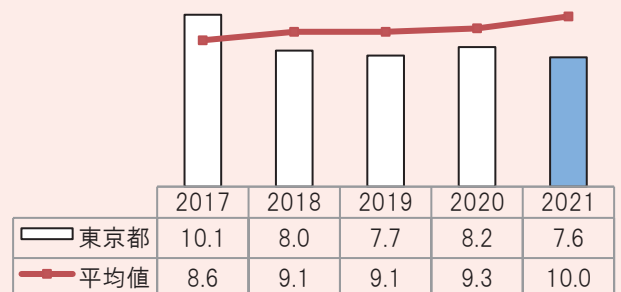
流動比率 (%)

5,258.4%



供給原価 (円)

7.6円

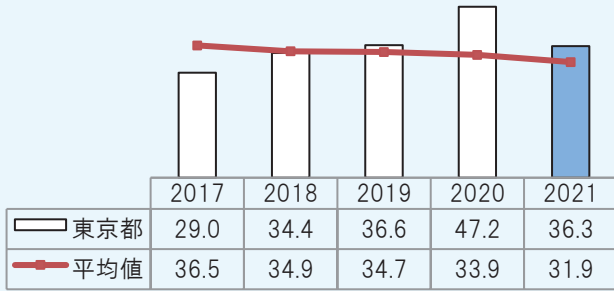


経営の
リスク

- 「設備利用率」は平均値と同程度となっています。
- 「有形固定資産減価償却率」が増加傾向にあります。
- 企業債残高はありません。

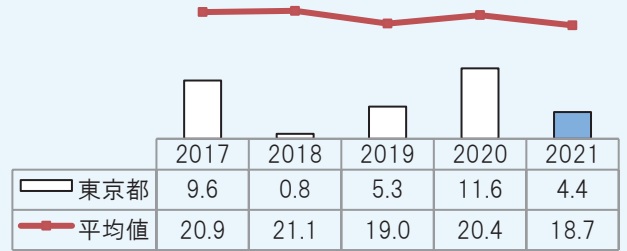
設備利用率 (%)

36.3%



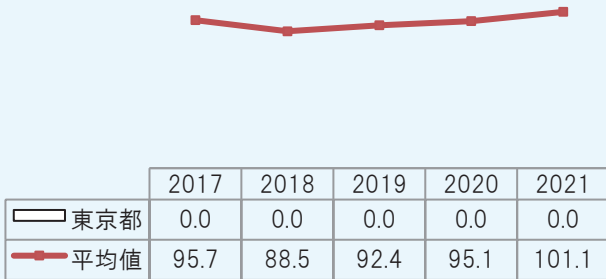
修繕費比率 (%)

4.4%



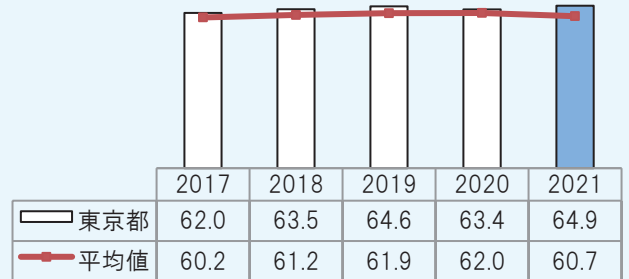
企業債残高対料金
収入比率 (%)

0%



有形固定資産
減価償却率 (%)

64.9%



ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

- (1) 交通局の概要
- (2) 東京都交通局経営計画及び進捗状況
- (3) 予算
- (4) 決算
- (5) 情報公開の状況 など



東京都交通局ホームページ > 交通局について > 情報公開ポータル
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>)

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望
(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>)



都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕

電話番号 03-3816-5700

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ

2番：お忘れ物などのお問い合わせ

3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/customer.html>)



東京都交通局2023経営レポート

令和6年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03-5321-1111 (代表)



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

すべての「今日」のために。

